

## 涅槃会にちなんで

定光寺 乙川文英

平成三十一年一月三十一日 加茂法話会

### 三仏忌

仏誕会	四月八日	ルンビニー	無憂樹
成道会	十二月八日	ブツダガヤ	菩提樹
涅槃会	二月十五日	クシナーラー	沙羅双樹

### 最後の教え

汝等比丘、悲悩を懐くこと勿れ、若し我世に住すること一劫するとも、会うものは亦た当に滅すべし。会うて而も離れざること終に得べからず。．．．応に度すべき者は、若しは天上人間皆悉く已に度す。其の未だ度せざる者には、皆亦た已に得度の因縁を作す。自今已後、我が諸の弟子、展転して之を行ぜば、即ち是れ如来の法身常に在して而も滅せざるなり。

汝等比丘、常に当に一心に出道を勤求すべし。．．．時將に過ぎなんと欲す、我れ滅度せんと欲す。是れ我が最後の教誨する所なり。〔『仏遺教経』〕

### どうやって修行する？

古来、仏法を学ぶ人、あるいは草庵に独居し、あるいは精舎に共行す。独居の輩は鬼魅魍魎に侵さること多く、共行の人は天魔波旬に嬖（なやま）せらるること少なし。未だ仏道の通塞を明らめずして、空しく至愚の独居を守る、あに錯りにあらざらんや。今常に叢林の長連牀上にあつて昼夜に弁道する、魔子嬖すことを得ず、鬼魅侵すことを得ず。誠にこれ善知識なり、また則ち勝友なり。〔『永平広録』〕